

陸前高田発

思い出の品 臨時返却会

津波で流された写真など思い出の品を持ち主や家族に返す「臨時返却会」が陸前高田市で行われました。訪れた市民はパソコンに取り込んだ写真のデータを見ながら家族や知人の写真がないか確認していました。会を開いたNPO法人が保存している写真は7万2000枚あるほかランドセルやサッカーボールなど物品およそ2800点が保管されています。(3/10 ニュース)



宮古発

身を守る津波避難訓練

宮古市では震災翌年から3月11日に津波避難訓練を毎年行っています。訓練は午前6時に青森県東方沖を震源とする巨大地震が発生し、大津波警報が発表されたとの想定で行われました。参加者はサイレンが鳴り響く中、足早に避難所へと向かっていました。(3/11 ニュース)



宮古発

県と市の合同追悼式

東日本大震災発生から7年、県と宮古市合同の追悼式が行われ、犠牲者に鎮魂の祈りが捧げられました。県と沿岸市町村による合同追悼式は震災翌年から毎年行われています。式には遺族など700人が参列し、献花台に花を手向け静かに手を合わせていました。(3/11 ニュース)



宮古発

巨大防潮堤で祈り

3月11日、宮古市田老地区の巨大防潮堤に今年は呼びかけを行わなかったにもかかわらず大勢の人が集まりました。そして午後2時46分、巨大防潮堤をも乗り越えた津波で田老地区では200人近い人が犠牲となっていて、集まった人たちは海に向かい静かに祈っていました。(3/11 ニュース)



釜石発

海上に「こよみのよぶね」

釜石市の根浜海岸では「こよみのよぶね」が行われました。アーティストの日比野克彦さんが監修して、3.11の形をした巨大な行燈が海の上に浮かべられました。訪れた人は波間に浮かぶ「よぶね」に静かに手を合わせ、追悼の祈りをささげていました。(3/11 ニュース)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、4月10日にオープンする総合交流センター「夢アリーナたかた」について伝えてくれました。この施設は震災で全壊した市民体育館の機能もつ施設で、多目的ホール、アリーナ、柔剣道場、温水プールなどもあります。16日から3日間はオープニングイベントとして、東京6大学バスケットボールリーグ戦・陸前高田大会を開催、また市内の小中高生を対象にバスケットボールクリニック等も行われるという事です。ところで陸前高田災害FMは今年16日をもって閉局、このコーナーへの参加も今回が最後となります。なお最終日は特別番組を午前9時から生放送で伝えるという事です。(3/14)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122